

「第3回社会貢献事例発表会」開催について

テーマ 「東日本大震災への対応 （技術士会員としての課題）」

日本技術士会の社会貢献に対する取り組みを会員に示し、会員の社会貢献活動をより一層励起するため会員の社会貢献活動事例を紹介する。今回は昨年に引き続き「東日本大震災」への貢献を取り上げる。震災より2年近くが立ち、復興に向けた活動の課題を主に取り上げる。

日 時

平成25年3月1日（金） 14:00～17:30

場 所

日本技術士会 葦手第二ビル 5階 AB会議室
近畿本部では、Web会議を行います（近畿本部会議室）

主 催

公益社団法人日本技術士会 社会貢献委員会

参加費

無料（地域本部では、Web試行中のため）

式次第

- 1 開会挨拶（内村会長）14:00～14:10
- 2 発表1 「岩手三陸の“なりわいの再生”に協力して」
——技術士、日本技術士会の協力活動のあり方を問う！——
林謙三（経営工学部門）
株式会社テクナレッジ・ジャパン 代表取締役
- 3 発表2 「原子力・放射線部門の技術士として、震災後の福島で何ができたか」
高橋一智（原子力・放射線部門）
高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター 技師

— 休憩 — 15:30～15:40
- 4 発表3 「東日本大震災 水産加工技術支援報告」
阿部万寿雄 （水産部会・理事） ABE 技術士事務所
- 5 パネルディスカッション「 内容検討中 」16:20～17:30
コーディネータ パネリスト 発表者 及び 田村さん
- 6 閉会挨拶

発表概要

発表1「岩手三陸の“なりわいの再生”に協力して」

——技術士、日本技術士会の協力活動のあり方を問う！——

林謙三（経営工学部門） 株式会社テクナレッジ・ジャパン 代表取締役

経営工学部会で21世紀における経営工学のあり方を論究した“経営工学ビジョン2050”の考え方を震災復興に実践すべく、ワーキンググループ「岩手三陸協力WG」を2011年12月に立上げた。具体的には岩手県の三陸沿岸地域の“なりわいの再生”に取り組んでいる。

発表2「原子力・放射線部門の技術士として、震災後の福島で何ができたか」

高橋一智（原子力・放射線部門）

高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター 技師

福島県出身であり、放射線に関わる技術士として、この事故に対し何をしたのか、そして何が出来なかったのか。具体的な活動として行った、1. 一時帰宅支援、2. 放射線・放射能に関する情報提供、3. 除染を通じて報告する。

発表3「東日本大震災 水産加工技術支援報告」

阿部万寿雄 水産部会 理事 ABE 技術士事務所

水産関係の緊急復旧施設は水産物冷却用の製氷施設の技術情報を関係企業に提供することから開始した。以来今年の秋までにおこなった、漁港・製氷・冷凍冷蔵・水産加工団地・わかめ養殖施設技術支援について報告する。

お問合せ先

公益社団法人 日本技術士会 事務局 TEL03-3459-1331

近畿本部でのご参加希望の方は、氏名・部門・E-Mail アドレスをご記入の上、近畿本部までお申込下さい。申込締切は、2/27（水）です。

近畿本部への申込先：

F A X 0 6 - 6 4 4 4 - 3 7 4 0

E-Mail pe@ipej-knk.jp